

「教師海外研修」を実施しました!!



一般コース in サモア

一般コースは今年3年目となるサモアでの海外研修を実施しました。
青い海とヤシの木、人懐っこい人々に豊かな自然と、一見すると豊かに見える小さな島国ですが、その豊かさの裏には環境や社会の脆弱性が大きな課題となっています。
そんなサモアで活躍する青年海外協力隊をはじめとする日本人の活動の様子を視察したり、直接意見交換したりして、国際協力について考え、サモア人家庭でのホームステイを通じて、サモアの文化や価値観などに触れ、異文化体験をしました。
海外研修中は、毎日メンバー同士でその日に体験したこと、考えたことを共有し、帰国後子どもたちに何をどうやって伝えるかについても意見交換しましたが、それがお互いの良い刺激になり、帰国後の活動につながっています。



その後の
「実践授業」
では...

教師海外研修では、サモアで働いている青年海外協力隊の方々に出会いました。開発途上国のため、サモアのため、そして日本のために働いていらっしゃる方々の姿を見て、その世界で活躍されている様子を、5年生の子どもたちに伝えたいとなりました。
そこで、この日の授業では、「世界で活躍する人々を知ろう」というテーマで、サモアで活動する青年海外協力隊員の紹介と、地元輪島市出身の青年海外協力隊の高野隊員とスカイプで交流をしました。子どもたちは、「輪島から海外ボランティアに参加していることを初めて知ったよ。」と驚いていました。それまで遠い世界のことと思っていた海外のボランティア活動が一気に身近になった瞬間だったように思えました。
子どもたちは、高野隊員との交流はもちろんのこと、スカイプを通して、フィジーの町の様子を見たり、フィジーの人たちと画面を通して交流したりし、貴重な体験をすることができたようでした。

輪島市立鳳至小学校 井口 紗希子先生



技術系グローバル人材育成コース in フィリピン

JICA北陸では高専や工業高校を対象に技術分野のグローバル人材育成のあり方を考えるコースを2012年度から独自に実施しています。2016年度はフィリピンで実施しました。
初日のJICA事務所、商工会議所の説明に引き続き、路上生活者のシェルターでの教育状況、日本への研修生を育成している学校、船員育成の大学、通常の高校、JICAのプロジェクトが入っていた技術センター、フィリピンで最高レベルの教育が行われている大学などを訪問しました。
密なスケジュールの中、底辺から頂点までの様々なフィリピンでの教育現場を見ると同時に意見交換を行い、まずは先生方が大いに刺激を受け、グローバル人材化した研修となりました。
この後は先生方が学校に戻り、生徒への「グローバル人材育成」を進める番です。



その後の
「実践授業」
では...

7月31日から8月6日の日程でフィリピンにて行われた教師海外研修では、ストリートチルドレン、公立高校における教育資源不足、逆に私立校や企業などから出資を受ける学校での高度な教育など、フィリピンにおける大きな問題の一つである格差問題を目の当たりにした。特に、実際にストリートチルドレンの子供達と会い、言葉は通じない中でも触れ合ったこともあり「この子達に自分は何かできるのだろうか、何かできないだろうか。」という思いに強く駆られた。
そこで本実践授業では、途上国における種々の問題に対しフィリピンを例に学生たちに紹介し、一人でも多くの学生が途上国への興味を持ち、行動に移してくれることを期待し実行するものである。授業はフィリピンで撮影してきた写真などを利用して体験談を交えて、少しでも学生たちの意識が高まることを目指している。実施時間は1回あたり10～15分程度であり、私が担当する授業の中で終了前の時間を利用している。毎週（半期で約15回）行うことにより、少しずつではあるが数を重ねることで、学生たちの中に芽生えた意識がより定着することを期待して、現在実施しているところである。

福井工業高等専門学校 物質工学科 佐々 和洋先生



世界遺産の活用を通して 住民の生活向上を支援しています!

草の根技術協力事業グアテマラ国「世界複合遺産『ティカル国立公園』の保存と活用を通して住民の生活向上支援プロジェクト」は、2014年6月にJICA北陸と金沢大学により、ティカル国立公園をカウンターパートとして、周辺集落住民の生活向上を目指して開始されました。このプロジェクトを通して、文化・自然ガイドが育成された他、現地の資源を活用した木工芸品やアクセサリなどの土産物の制作が始まっています。
また周辺小学生の対象とした野外体験教室には、約500人の生徒が参加して、地元文化への愛着や誇り、環境意識の向上に貢献しています。



▲ティカル遺跡を活用した野外体験教室



▲育成された文化ガイド



▲民芸品のボールペン

民間連携事業

福井テクノフェア JICA北陸がブース出展!!

10月20～21日の2日間、産業展へ初!出展しました。両日計14,001名の来場者がある中「JICAブース」では、民間企業向けの支援事業やボランティア事業の広報、また個別相談の対応も行いました。
展示会では175社・団体が出展し、IoTの進展に伴う最先端技術の他、再生可能エネルギーや廃棄物の減容・燃料化に資する技術など、途上国での適用が期待できる製品・技術も多く見られました。ブースに来られた方の多くから「JICAが企業支援しているなんて知らなかった!」という言葉をいただき、同時に広く事業を知っていただく機会となったことが何よりの収穫でした。
展示会をきっかけに関心を持っていただいた方々との繋がりを深め、将来JICAとの連携が生まれることを期待し、これからもどんどん展示会に出展していきます!!



細田さんの海外研修体験記

マレーシア 研修で

JICA国際協力 中学生・高校生
エッセイコンテスト2016 優秀賞 入賞

兵庫県 啓明学院高等学校 1年
細田 和寛さん (福井県出身)

エッセイコンテストがきっかけで全国から集まった10名の仲間とともに、私はこの夏マレーシア研修に参加しました。
マレーシアのいくつもの施設を訪問したなかで、最も印象深かったのは学校です。
生徒の中の一人が、ちょうど文化祭をしていた校内を案内してくれ、その英語力には驚かされました。彼らの力があれば、きっといろんな問題も良くなっていくと思います。
私たちは、短い時間でしたが、深いつながりを作ることができました。そしてもうひとつ、研修に参加してよかったのは、海外の人たちと広く交わろうという日本の仲間ができたことです。海外へ行ったからこそ感じたことはとてもたくさんあり、感謝しています。



研修メンバー集合写真、ペトロナスツインタワーをバックに
(後列左端が細田さん)



学校を訪問し、大歓迎を受けた!



工場の作業見学